

パソコンを使って単語単文を追加する方法

1. 用意するもの

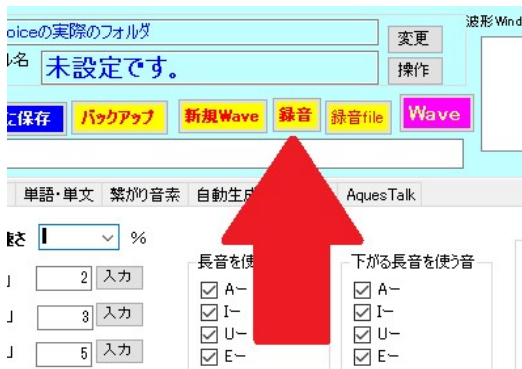
パソコン（内蔵マイクだと臨場感があります） 可能ならヘッドセット（録音の音が安定します）



マイボイスをインストールするとデスクトップにできる出てくるこの画面で



2. 「録音」をクリックします。

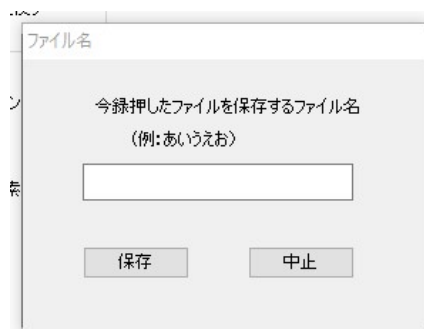


直後に

があるので

ここでは例として

「こんにちは」と声を吹き込みます。



3. 「停止」をクリックすると

が出てくるので

適当なファイル名を入れて「保存」をクリックします。

4. すると画面に



が出てくるので



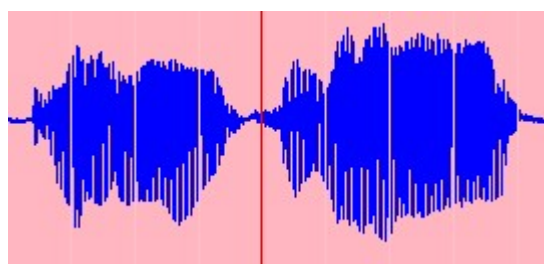
で声が再生されるので確認します。

ここでは「こんにちは」が聞ければいいわけです。

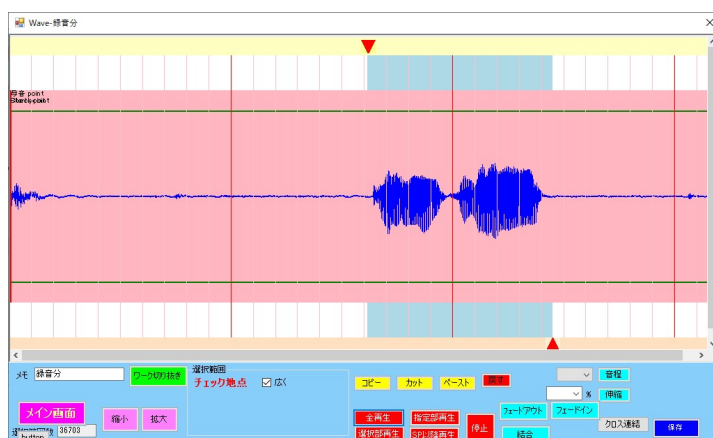
続いて「こんにちは」の波形だけをわずかな前後を残して指定します（青い範囲にします）。



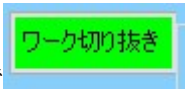
の各ボタンや波形の範囲をドラッグして



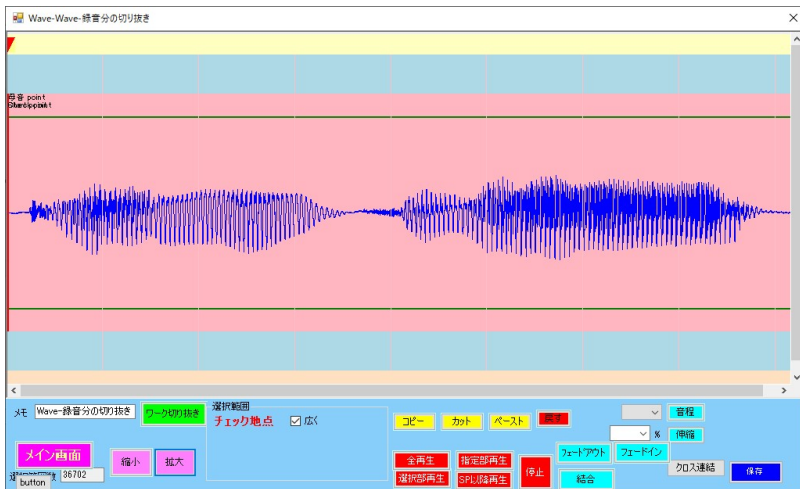
だけを水色に（範囲に）指定します。



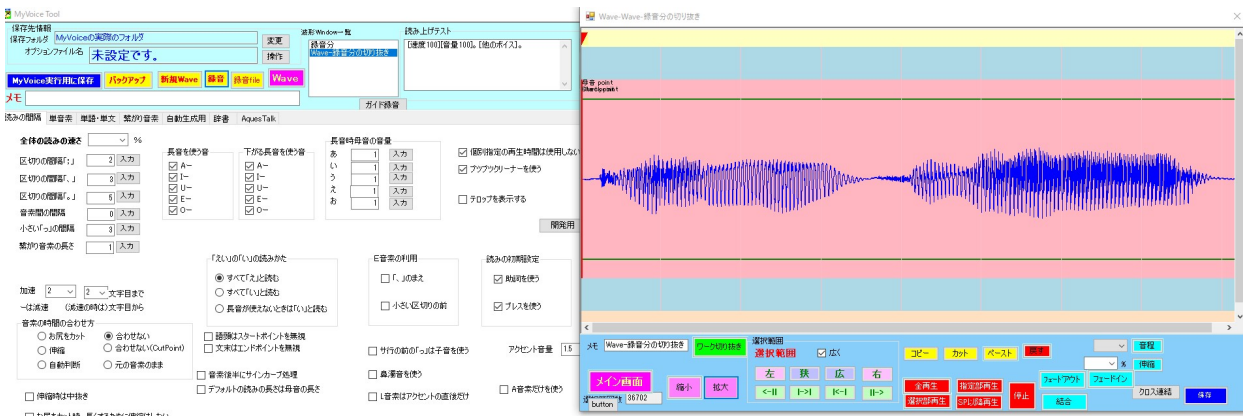
のような感じになります。



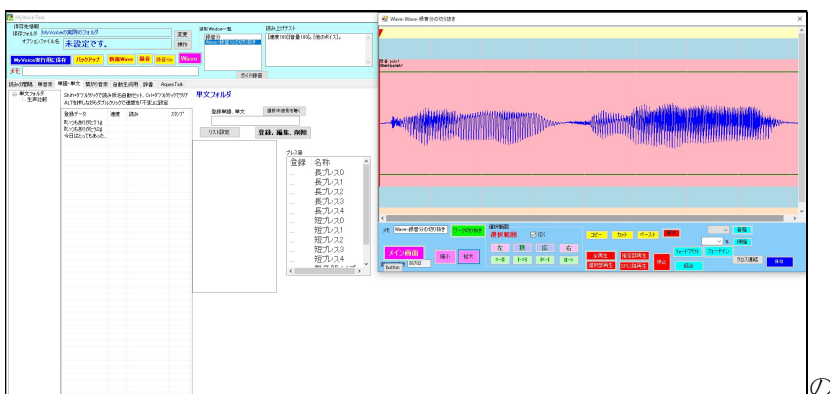
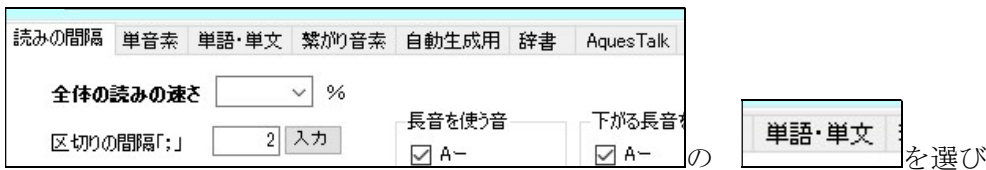
ここで を選ぶと



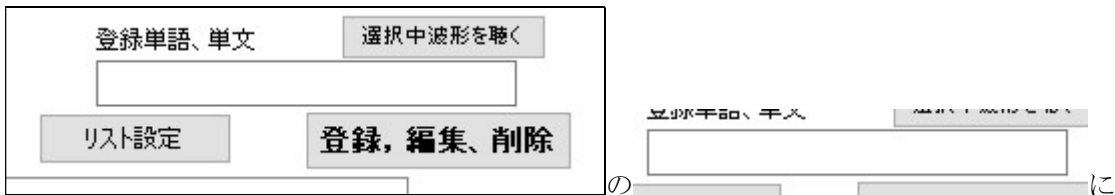
今選んでいた範囲が全体に切り出されます。微妙な切り出しが必要なときはこの機能が便利です。



の時に、



5 ファイル名入力.



「こんにちは」と入力して



をクリックします。これで単語「こんにちは」の編集登録は完了です。

ハーティラダーにファイル名と同じ「こんにちは」が入力されたときに、「こんにちは」そのものが発音されます。

6. HeartyLadder で以下のように文字を入れると



「こんにちは」 + 「あ」 + 「か」 + 「ちゃ」 + 「ん」 で再生されます（「赤ちゃん」が単語録音されていない場合）

7. <『 』でくくることについて>

ありがとう という音声ファイルが、単文フォルダにある（＝登録されている）と、



このように「どうもありがとう」という文章を HeartyLadder に入力したとき
実際の発音は、「どうも」が単文としてないとき

「ど」 + 「う」 + 「も」 + 「ありがとう」

と発音します。

途中から単語単位の発音ではバランスが悪いと感じるとき、「ありがとう」が使われないようにすることもできます。

それは、ありがとう に『 』をつけて、『ありがとう』で登録するのです。



こうすると、

「ど」 + 「う」 + 「も」 + 「あ」 + 「り」 + 「が」 + 「と」 + 「お」

と発音します。

もし、あえて発音を「ど」 + 「う」 + 「も」 + 「ありがとう」にしたいときは、

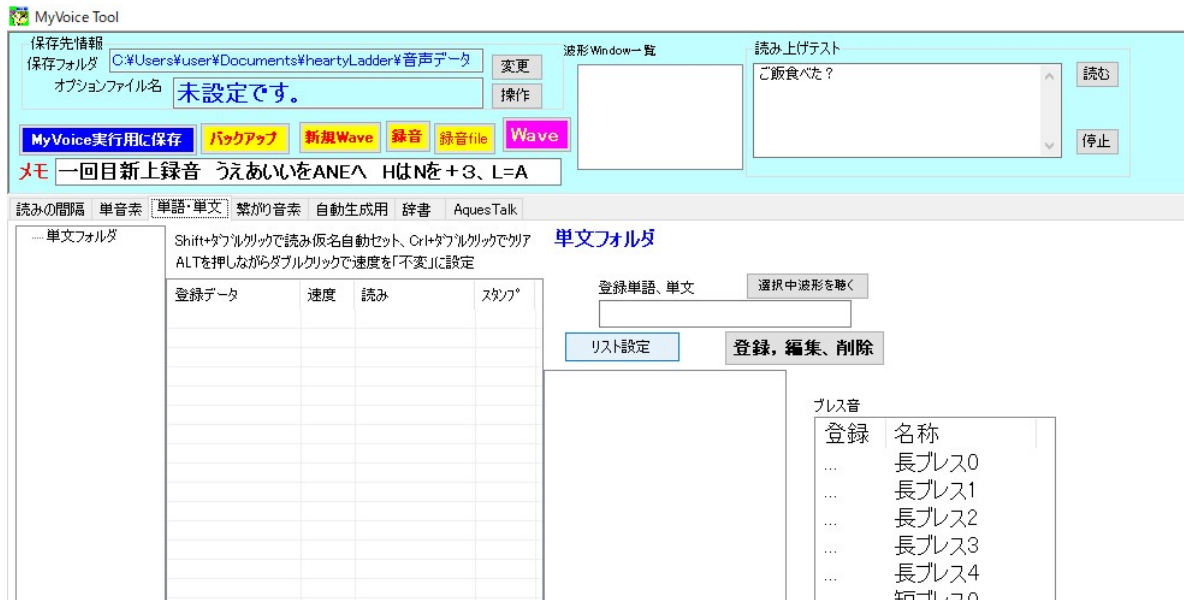


と文字を入力します。

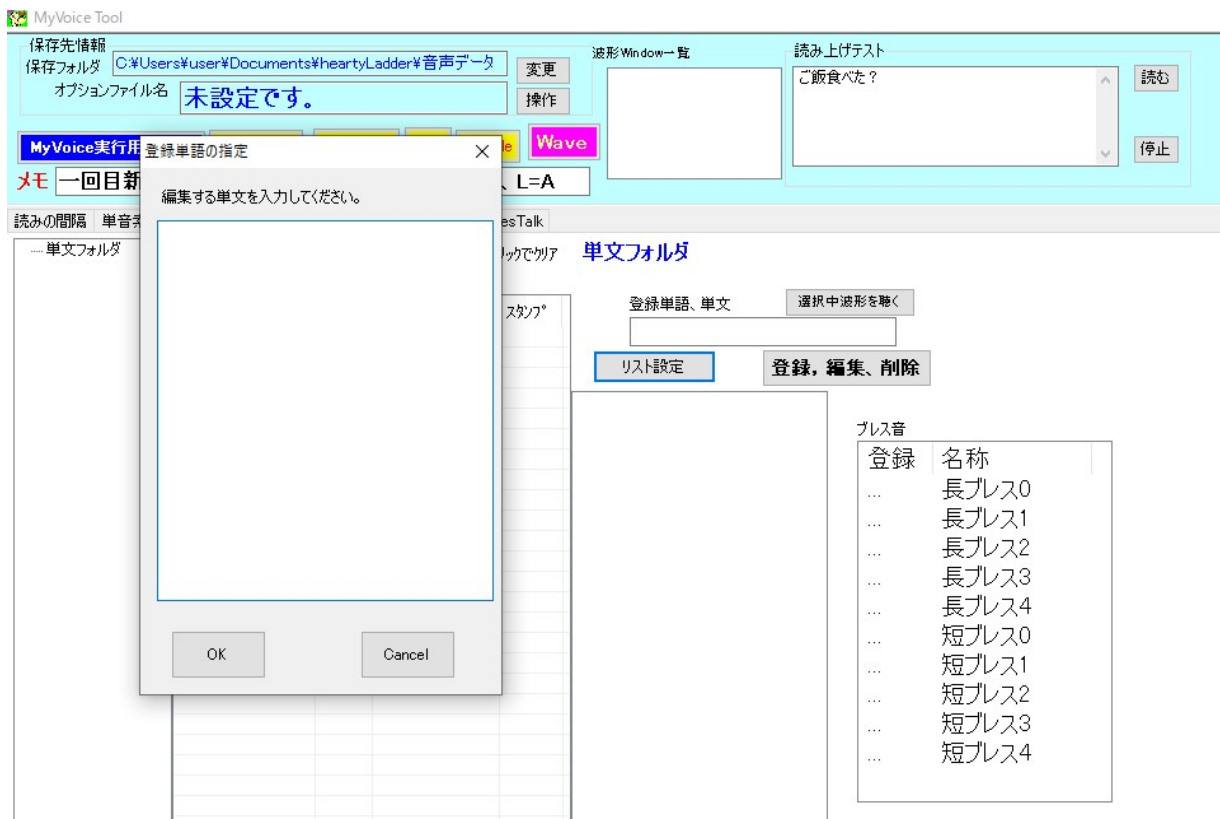
簡単に単文を登録する方法

単文は音声ファイルに、収録されている内容のファイル名をつける必要があります。

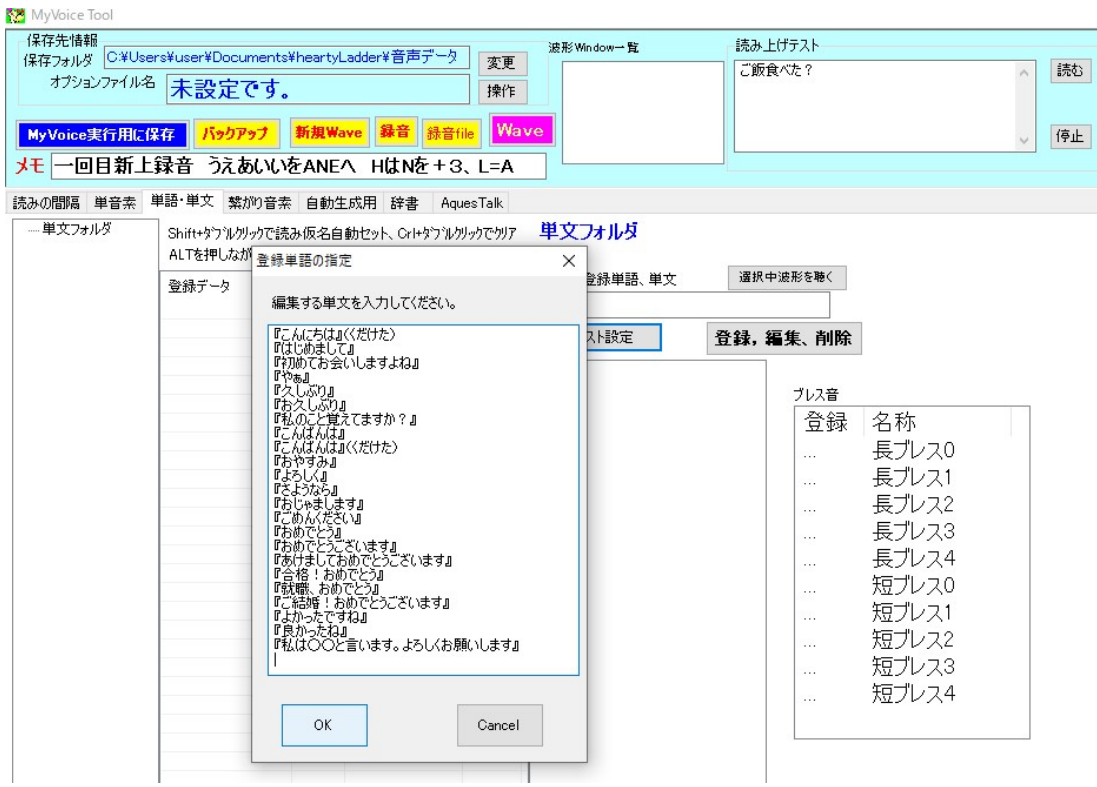
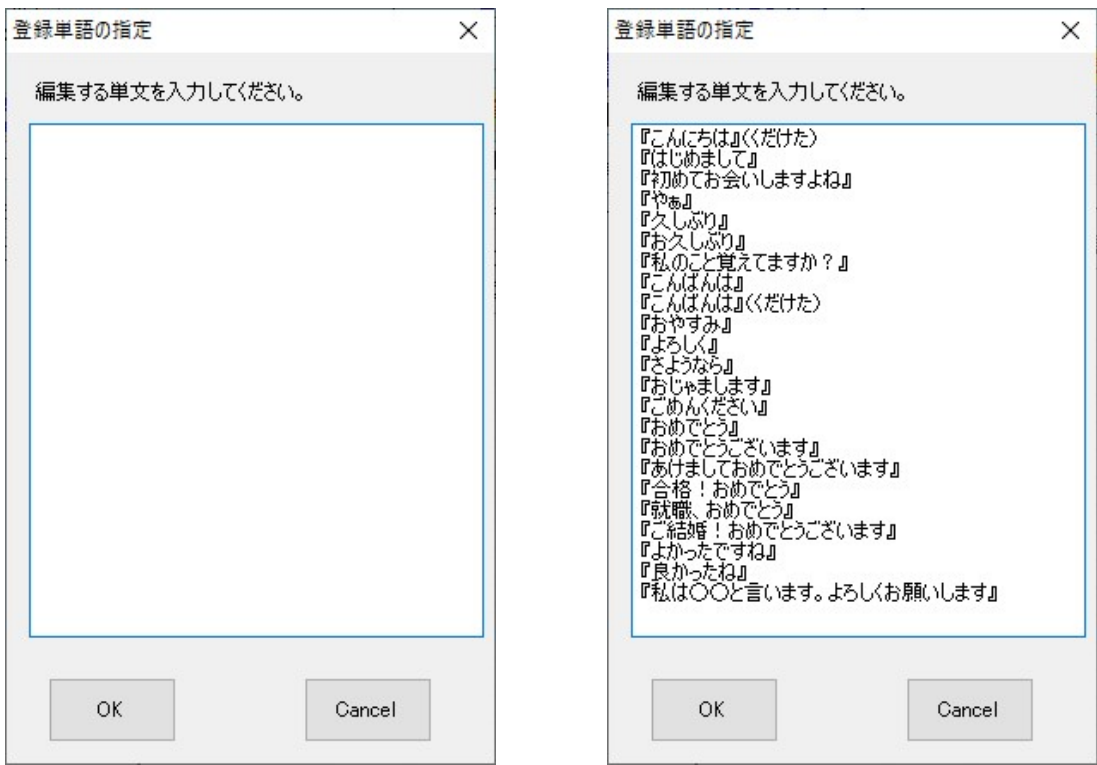
そのために、3で「こんにちは」と吹き込んだファイルに対しては「こんにちは」と手入力しますが、あらかじめファイル名一覧があれば、一覧表を取り込んで、ファイル名に該当する音声データ範囲を表示させた状態で該当ファイル名をクリックするだけで、その音声データファイルにそのファイル名がつき保存されます。



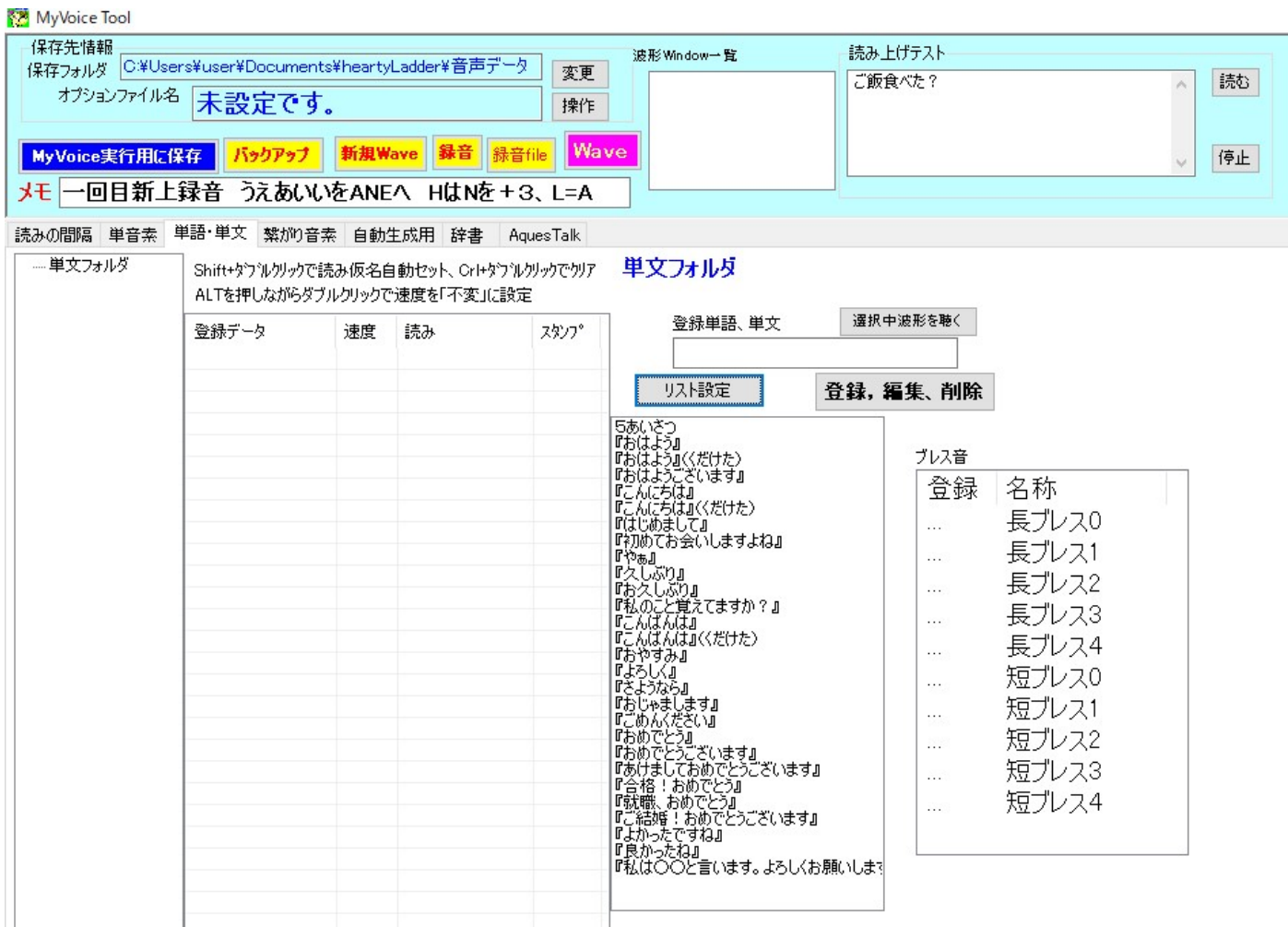
ここで「Shift キーを押しながら「リスト設定」をクリック」します。



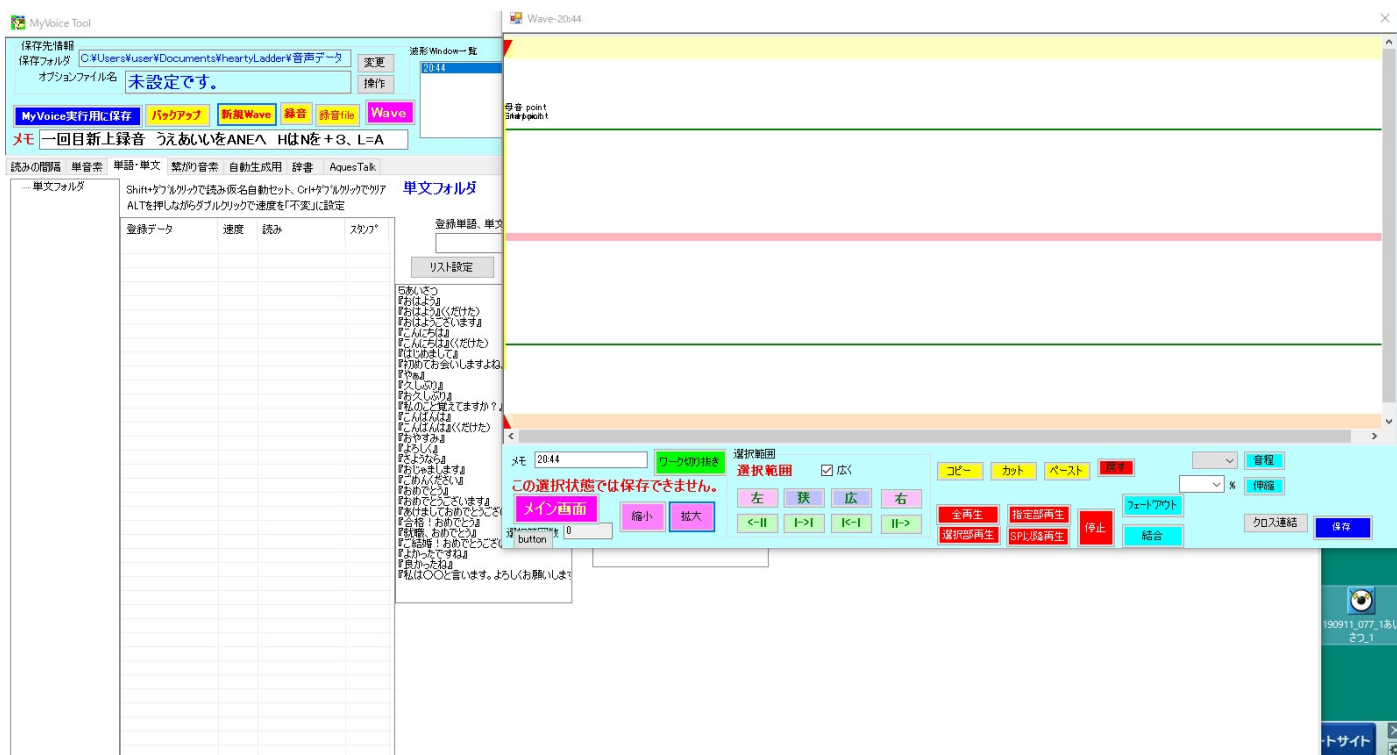
ここでできる窓に、リストをコピーペーストします。



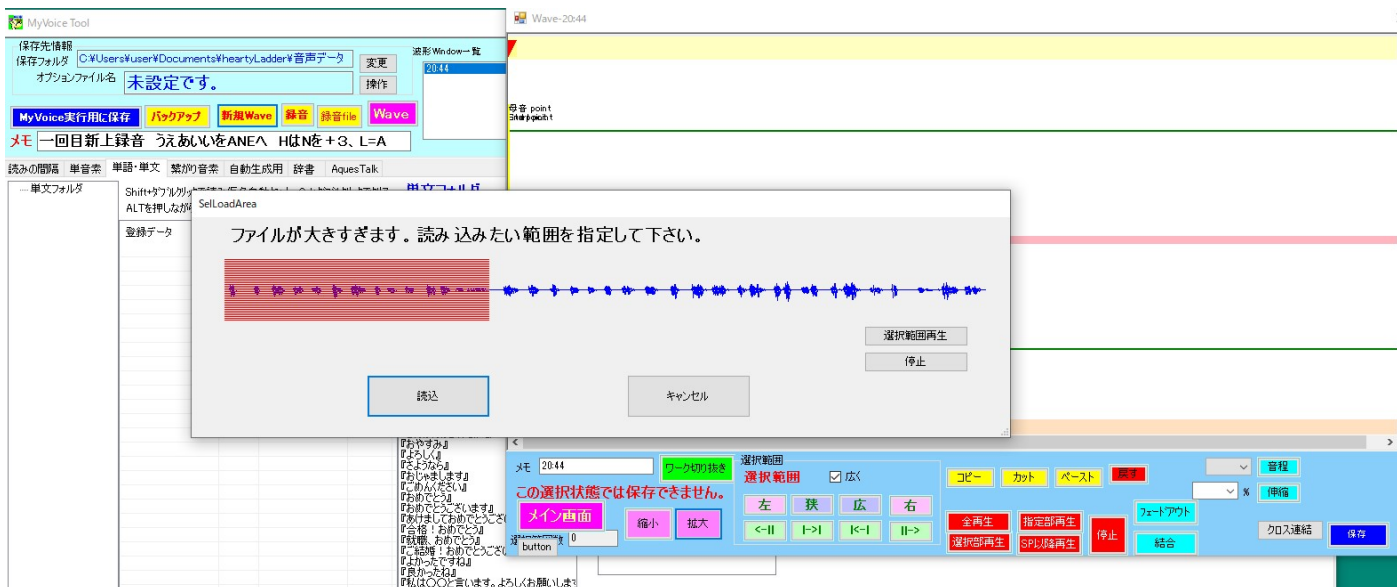
ここで「OK」を押すとこのようになります。



ここで「新規 Wave」をクリックします。
すると新しい窓ができます。

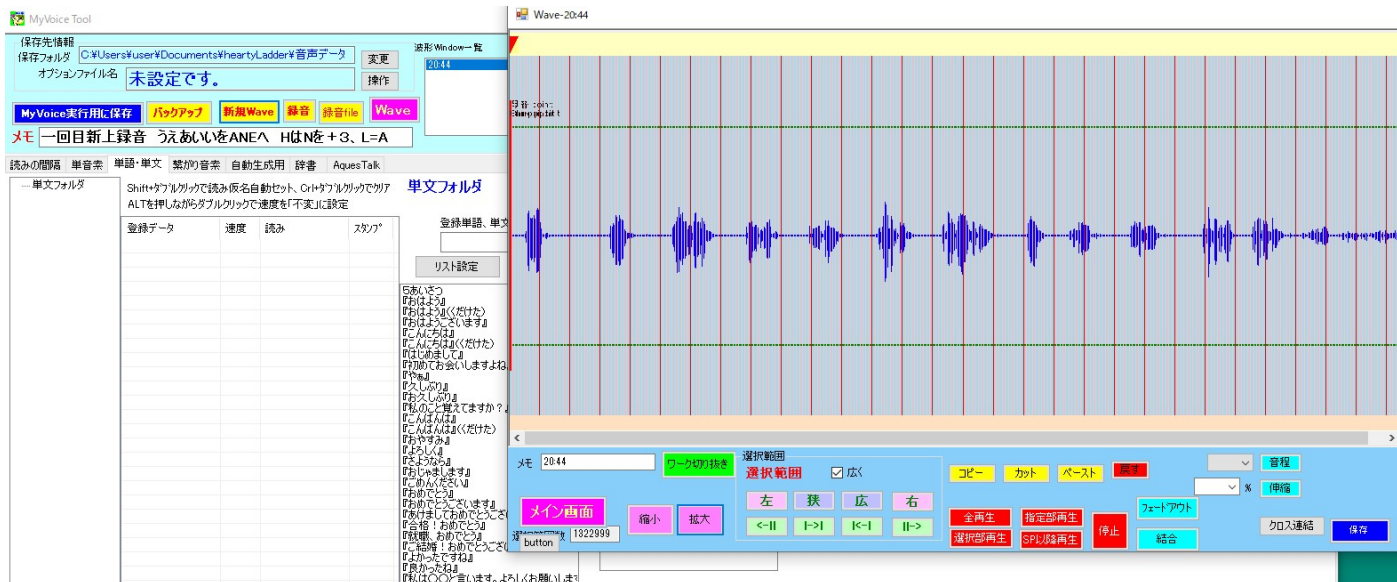


ここに「音声ファイル」をドラッグします。



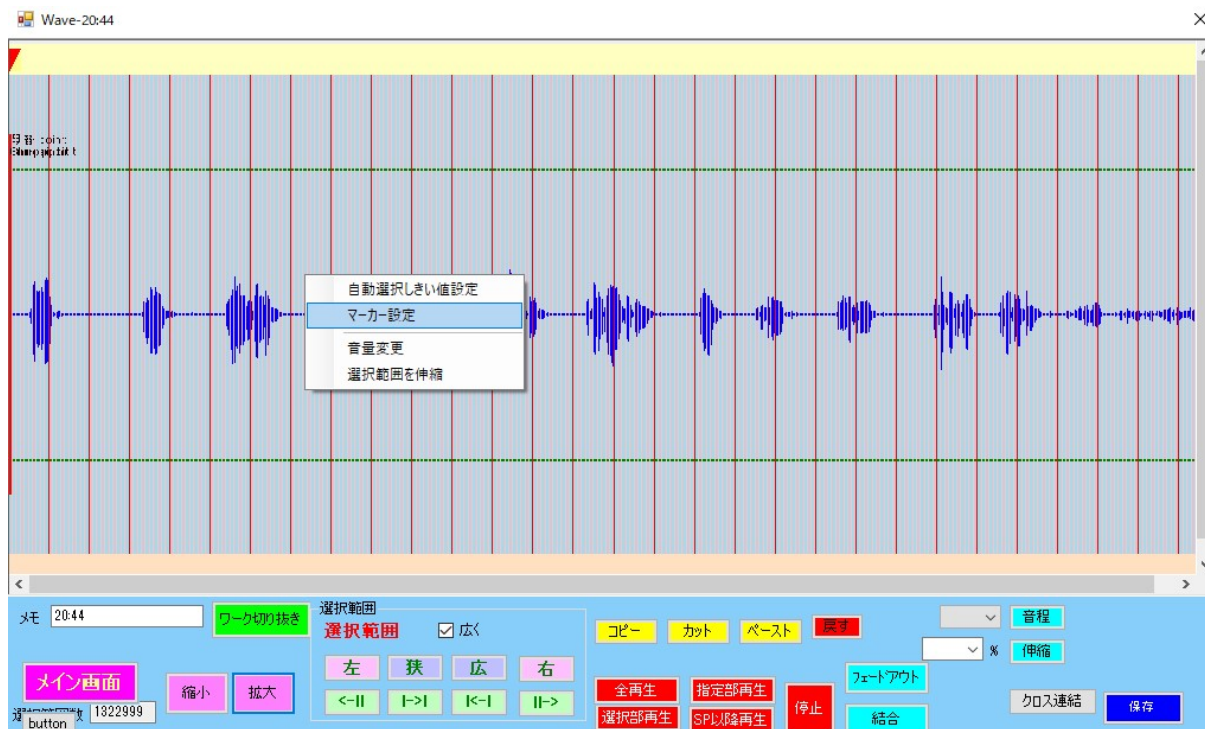
ファイルの録音時間が長すぎると上記のようになります。

そこで読み込みをクリックするとこのようになります（ピンクの部分を読み込まれます）。

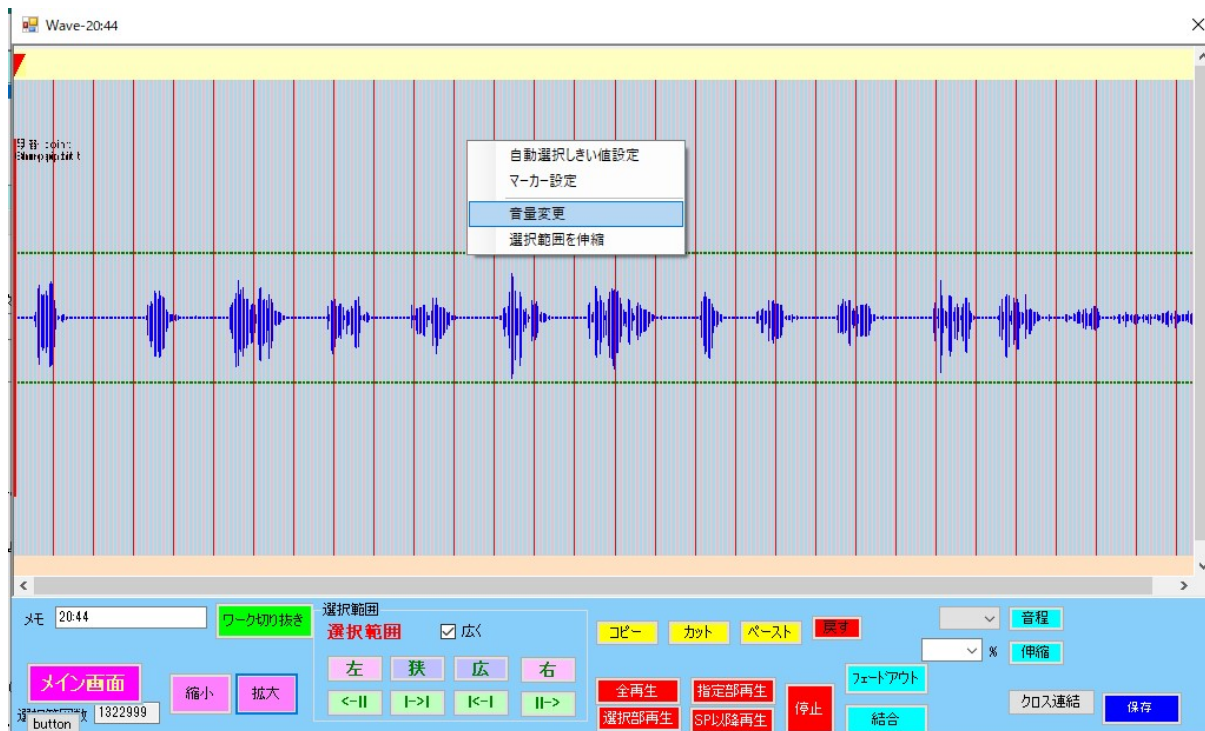


波形が縦に小さいようなので大きくします。

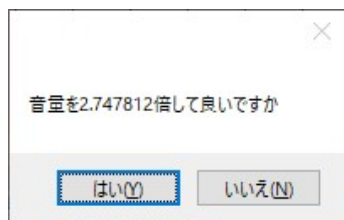
まず1の単位をマーカー設定します。(画面上で右クリック)



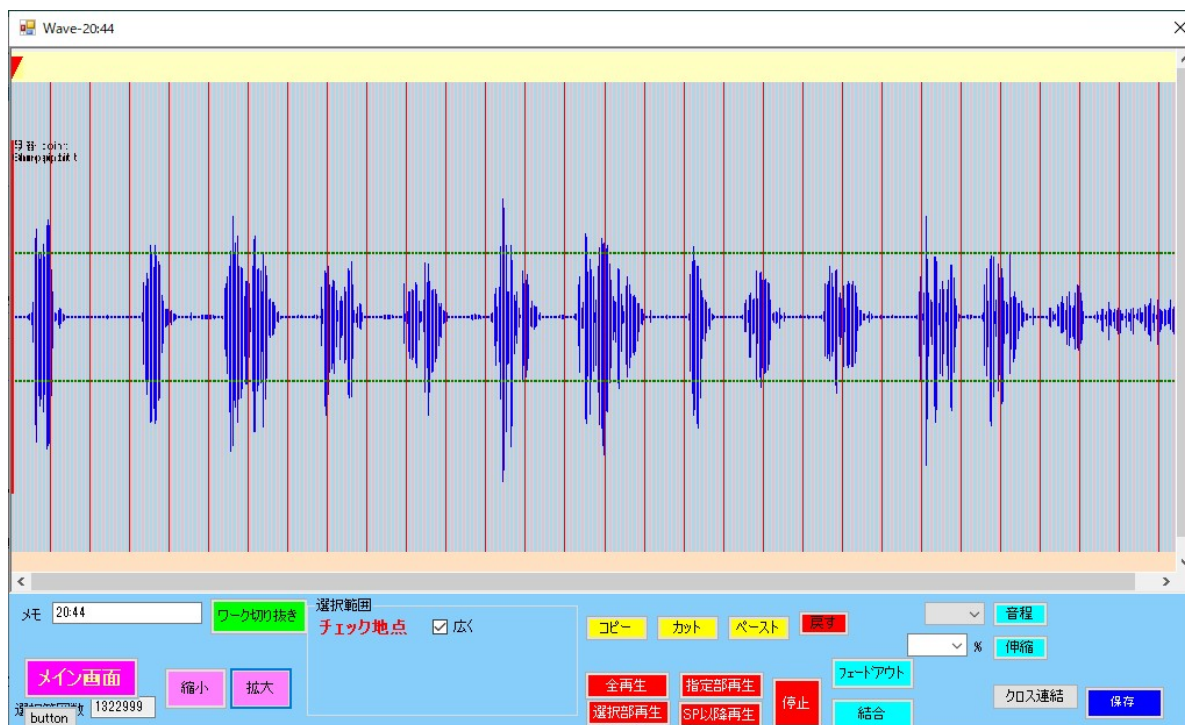
マーカーの位置を波形の近くにします。



音量変更を押すとこのように聞いてきます。

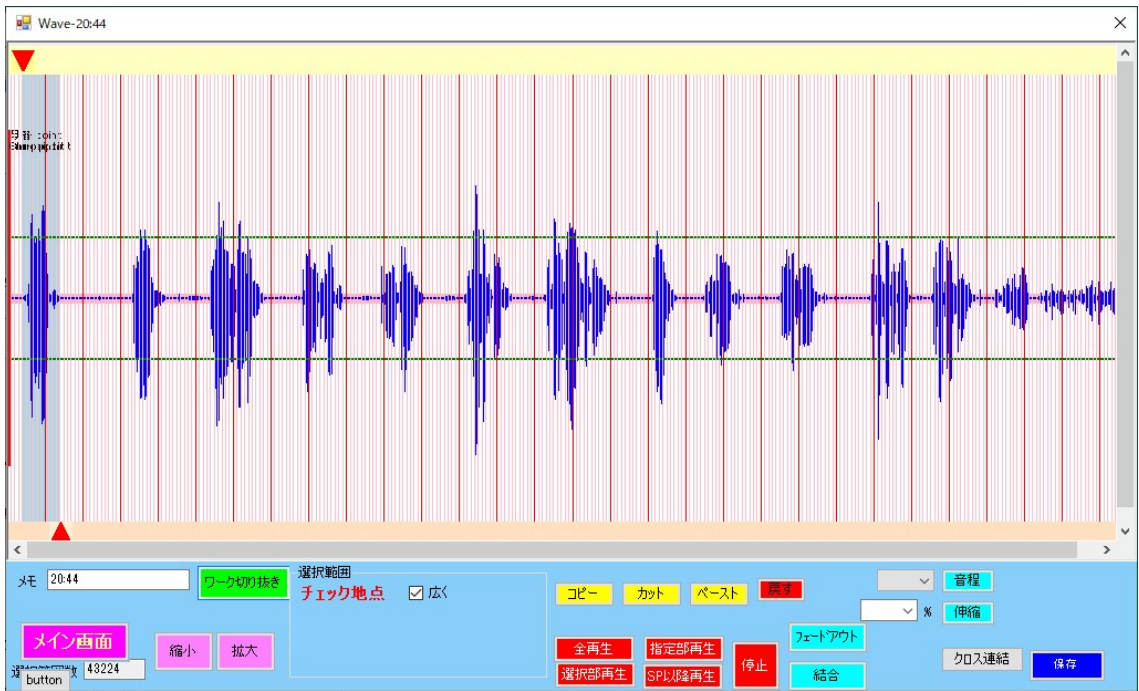


これで「はい」を選ぶと

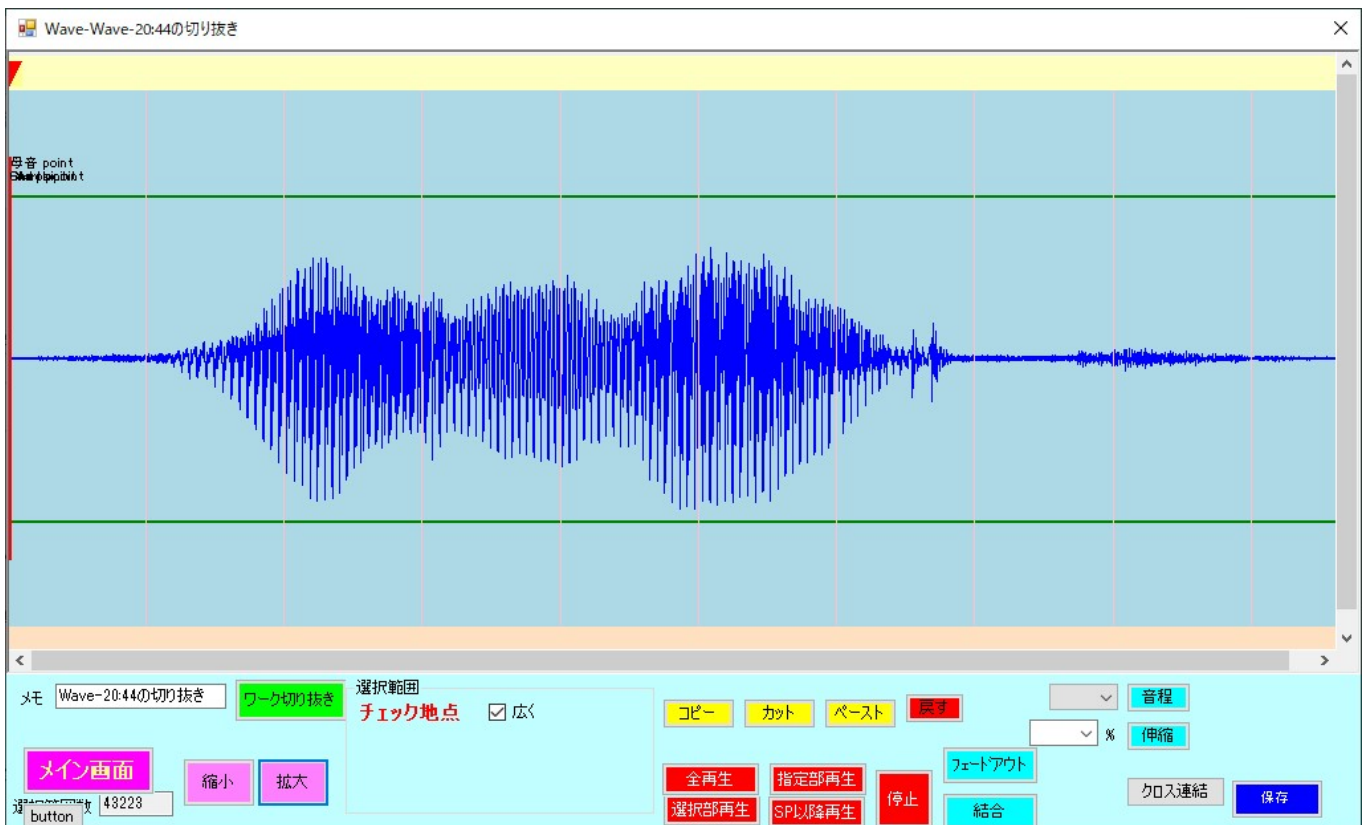


のように音量が変更されます。

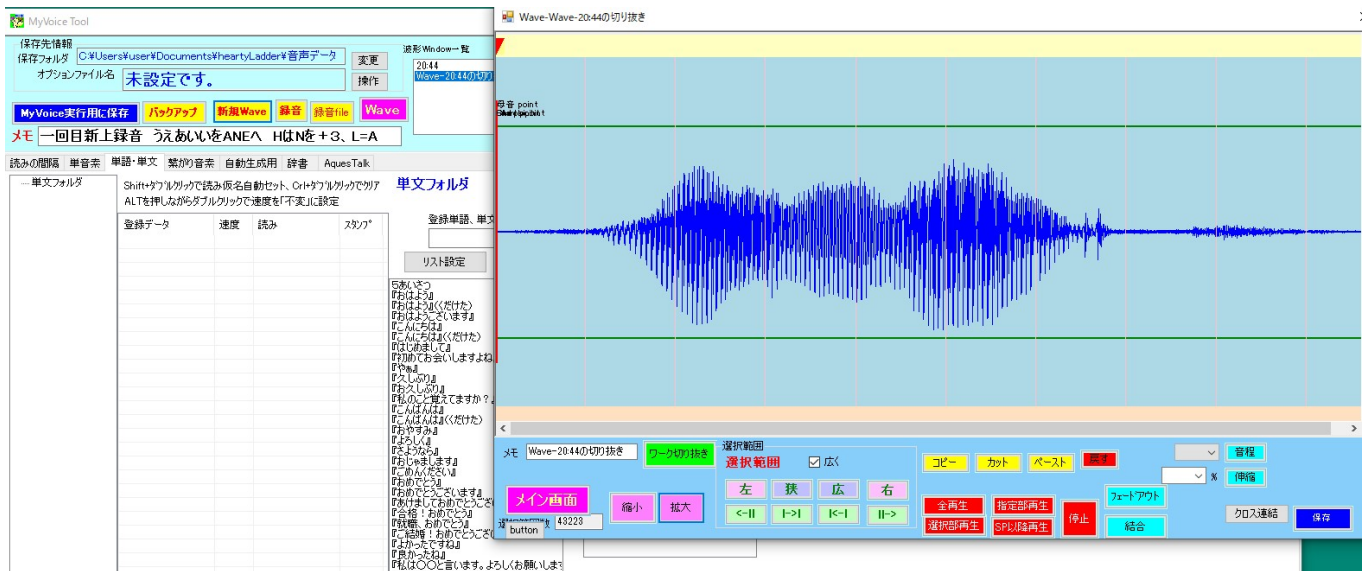
一番左が「おはよう」なので、波形上でクリックします。



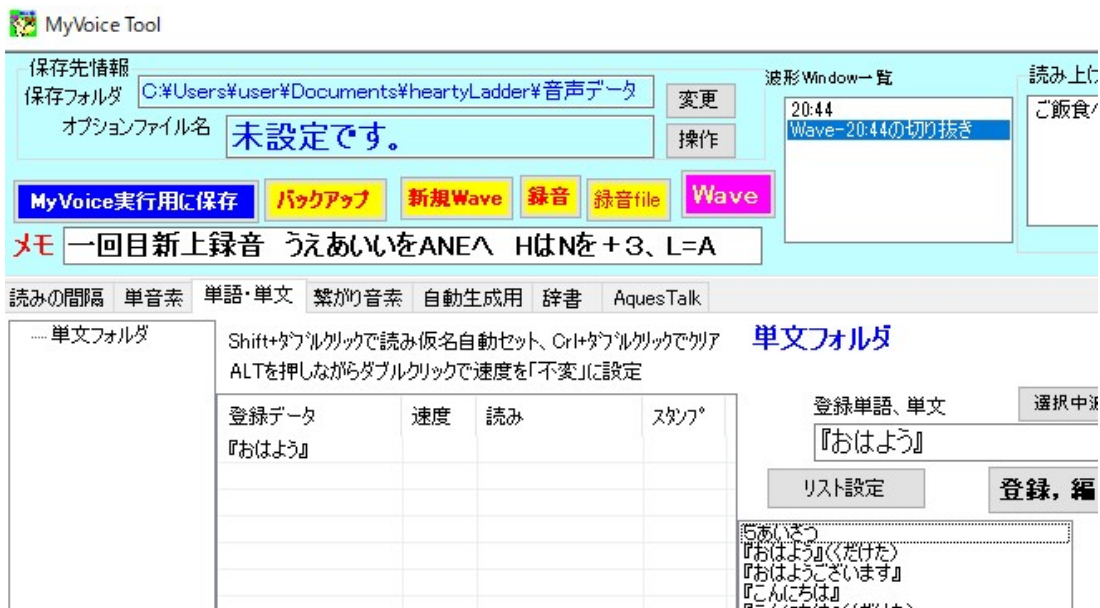
「おはよう」の部分が小さくて見にくいのでここで「ワーク切り抜き」をクリックします。



「おはよう」全体が入っているのが確認できました。
(入ってなければここで調整します)



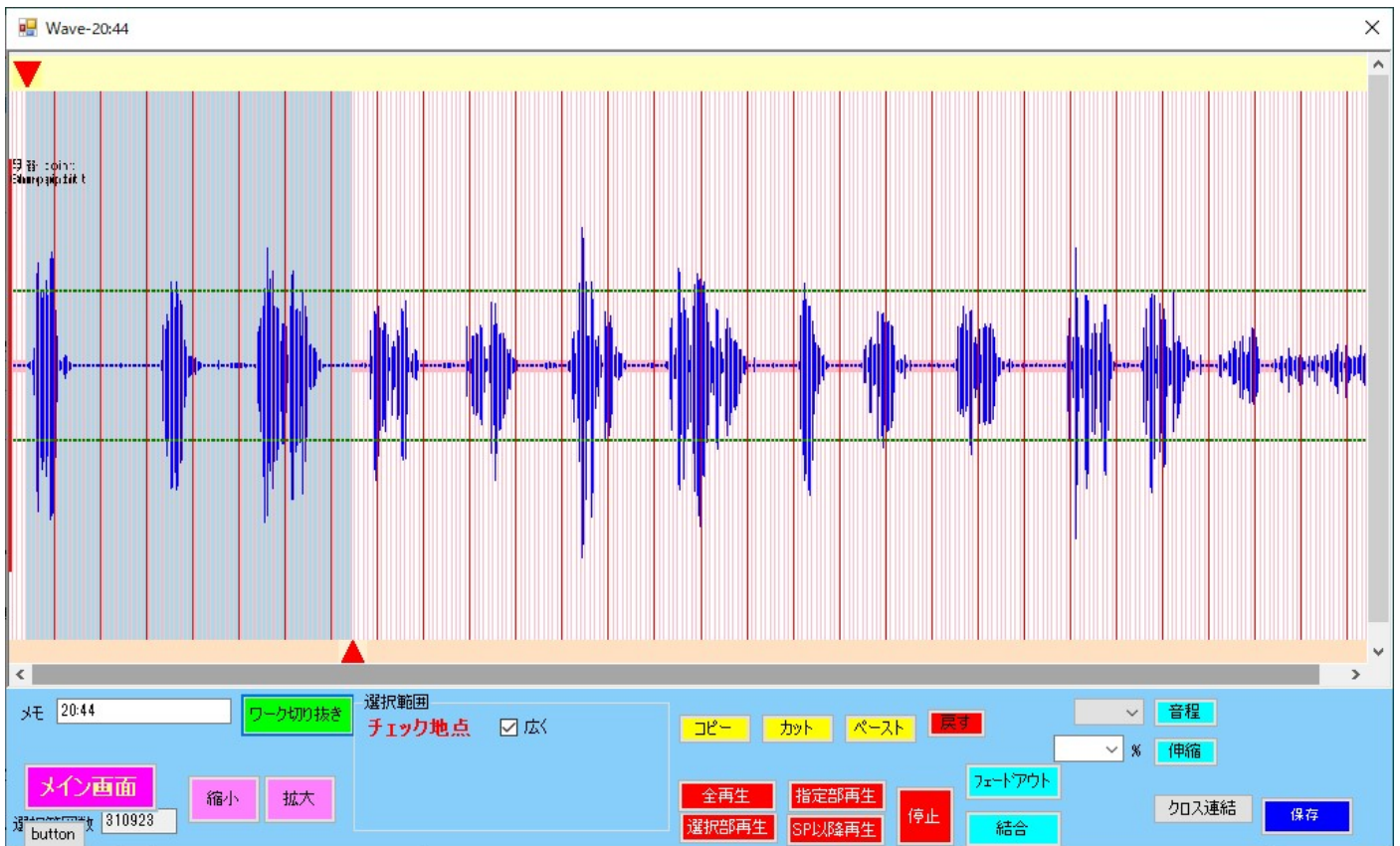
先ほどのリストの『おはよう』をクリックします。



『おはよう』が登録できました。

「ワーク切り抜き」についてです。

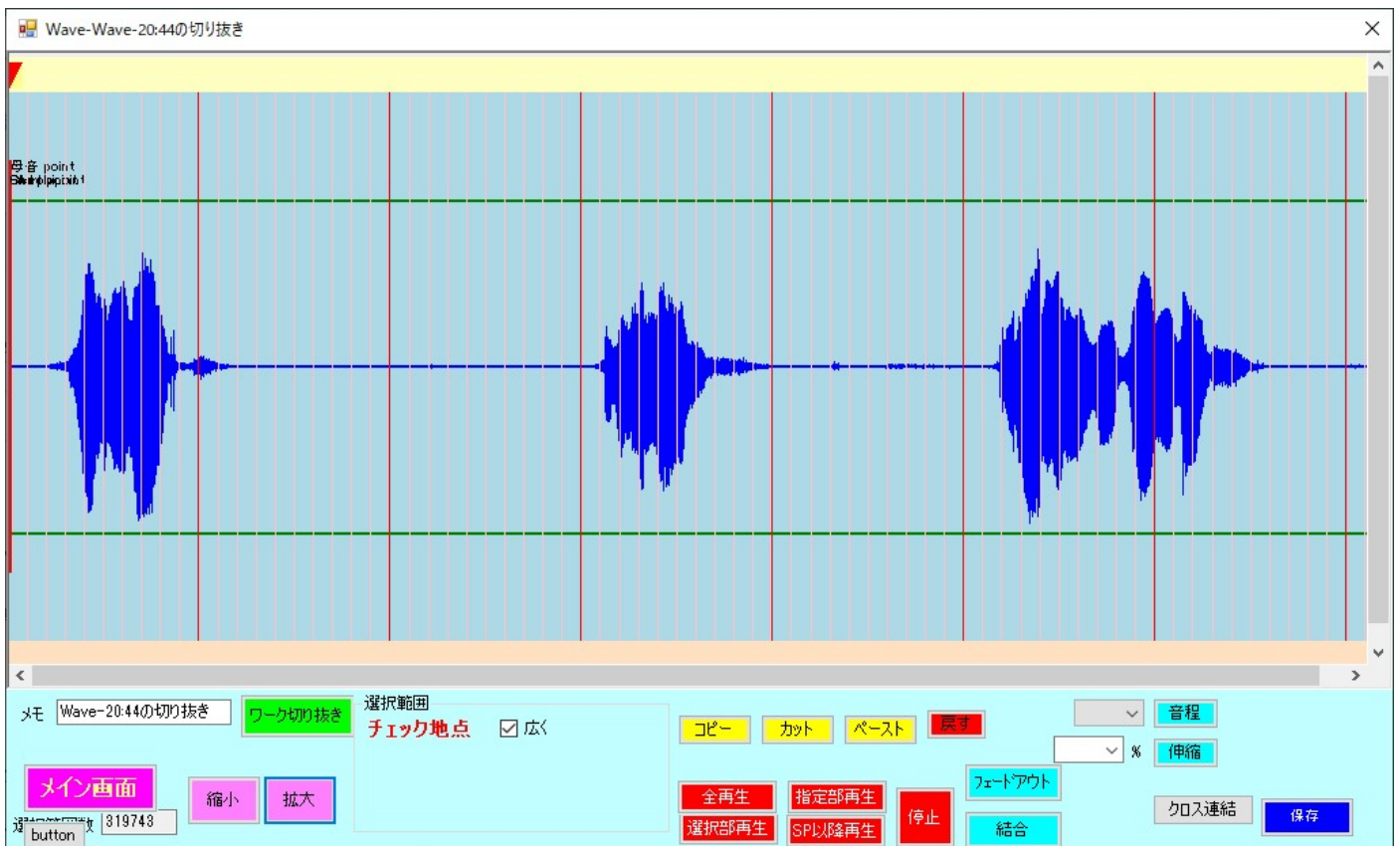
次に『おはよう (くれた)』の登録を例に、波形が切れいている場合の説明をします。



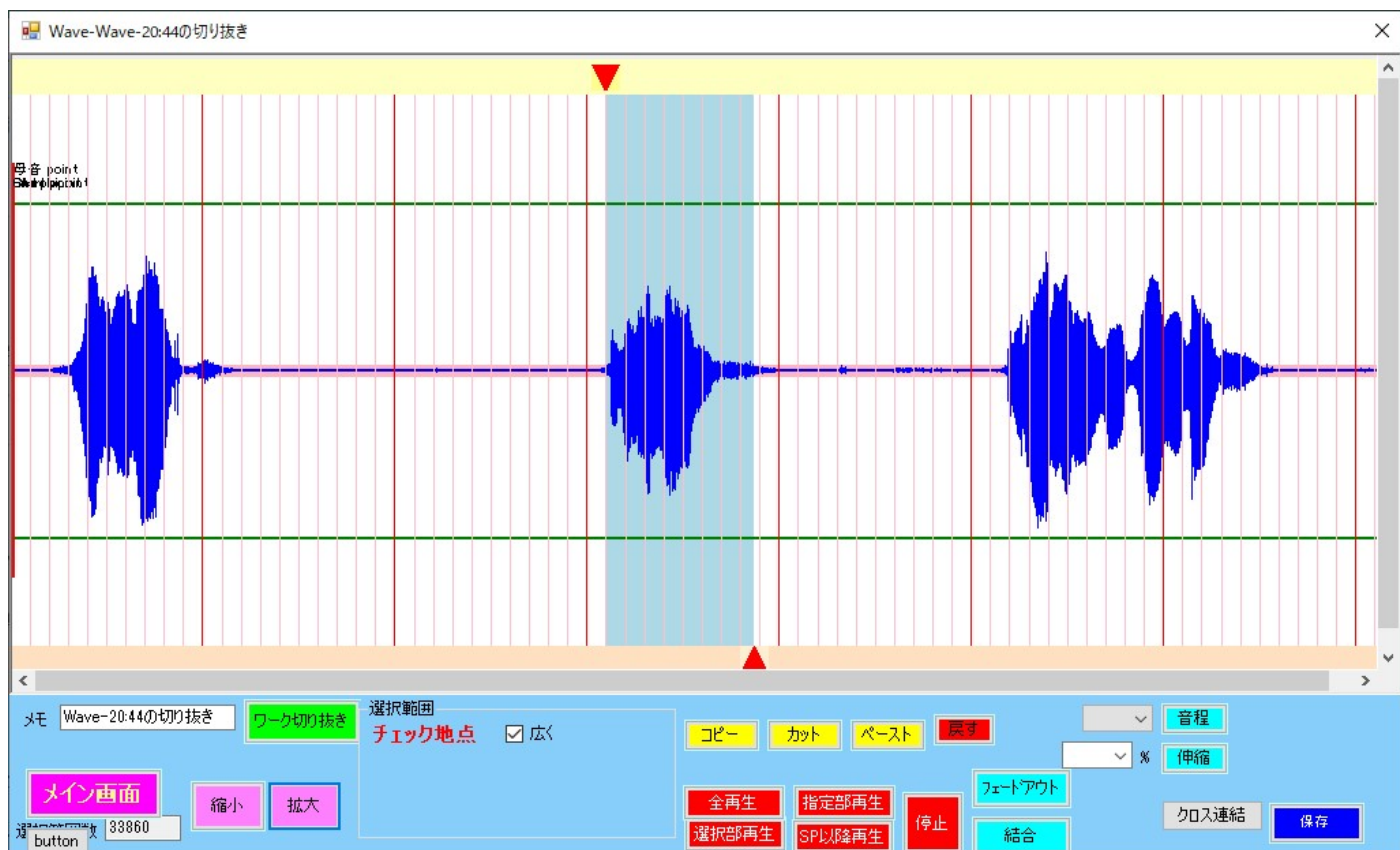
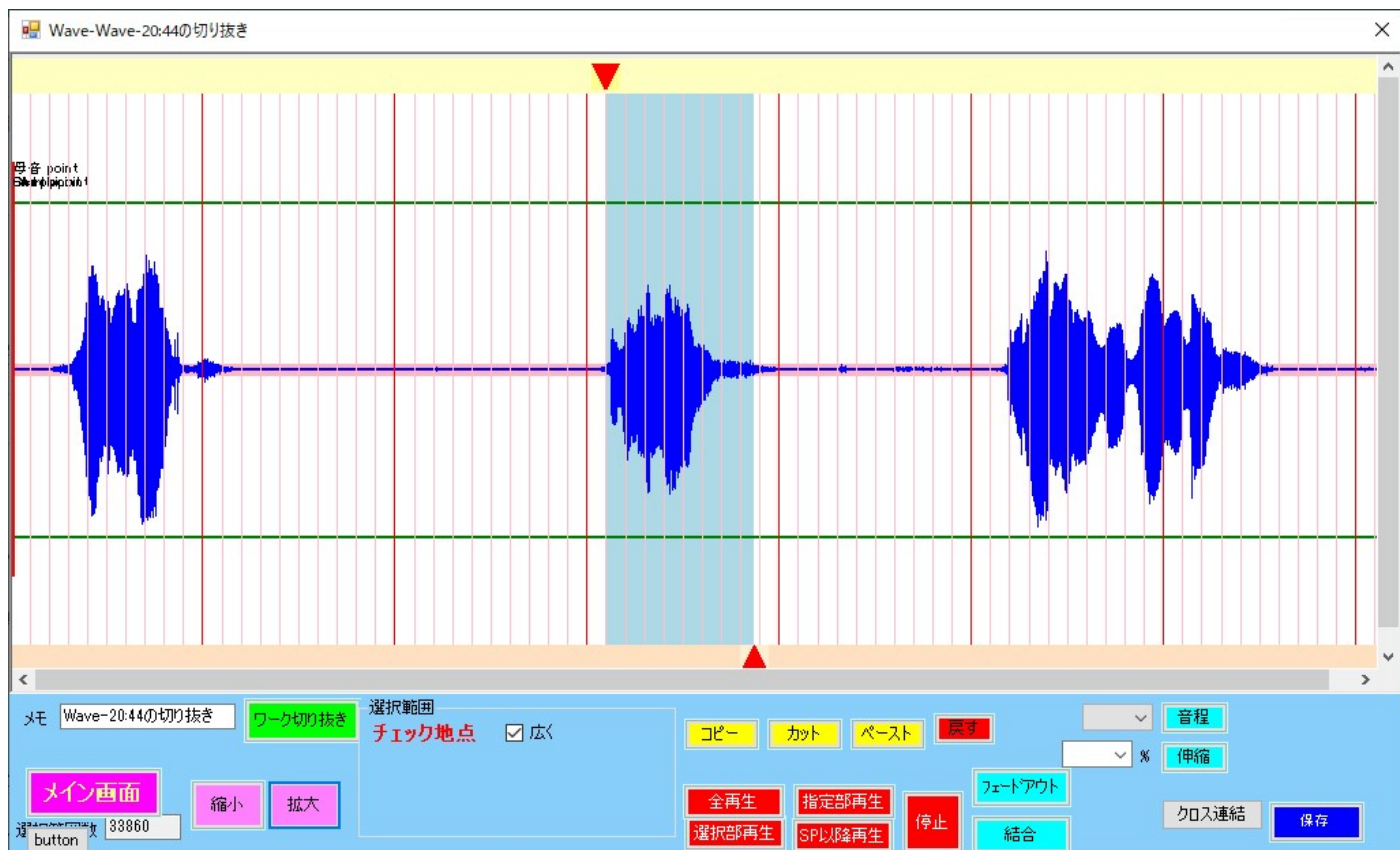
波形の特にみたい部分を指定します。

ここでワーク切り抜きを押すと

このようになります。

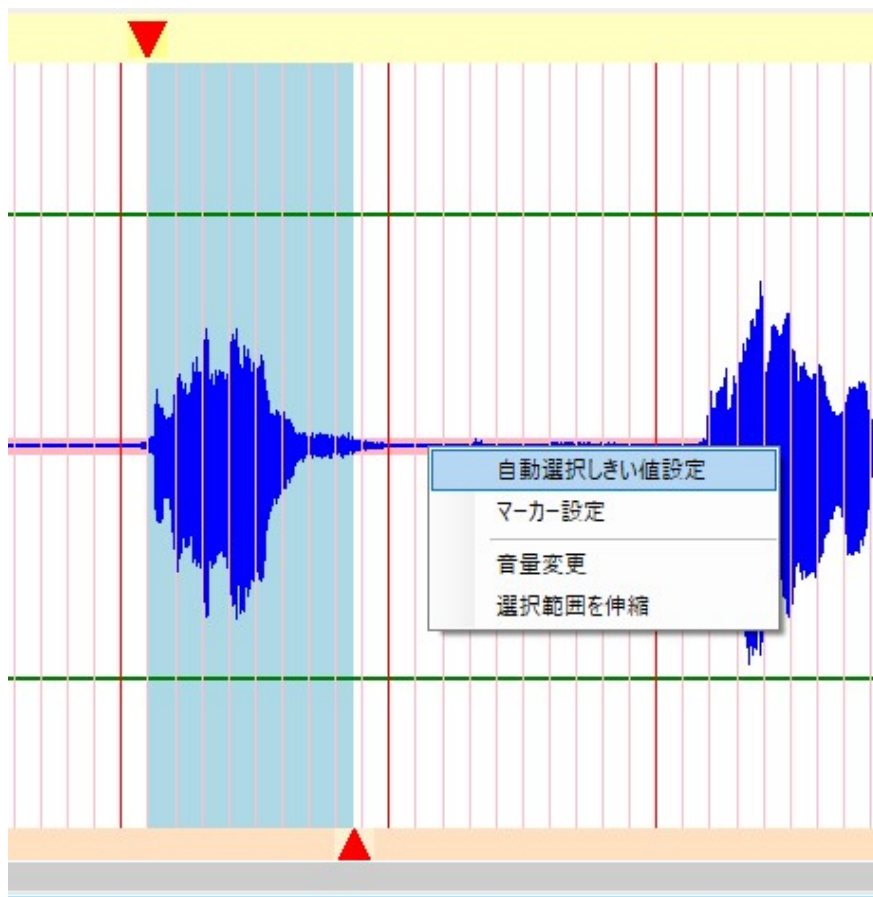


これは「おはよう」「おはよう（くださった）」「おはようございます」の3つです。
真ん中の「おはよう（くださった）」をクリックします。

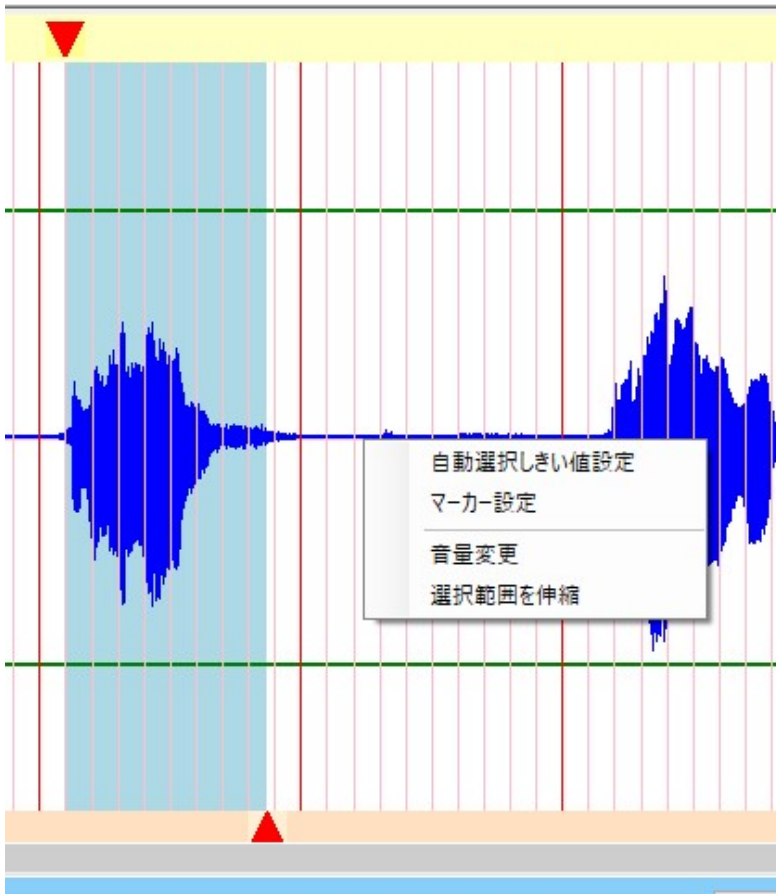


右端が波形の途中までしか選択されなかったのが確認できます。

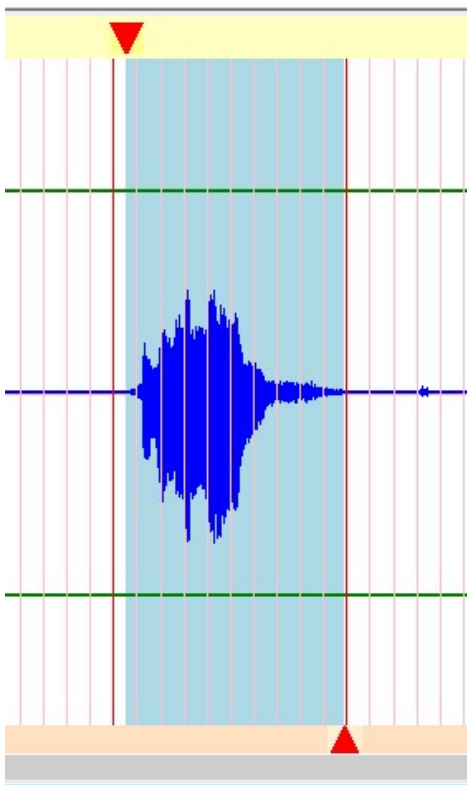
そこで画面のピンクの線上で右クリックします。



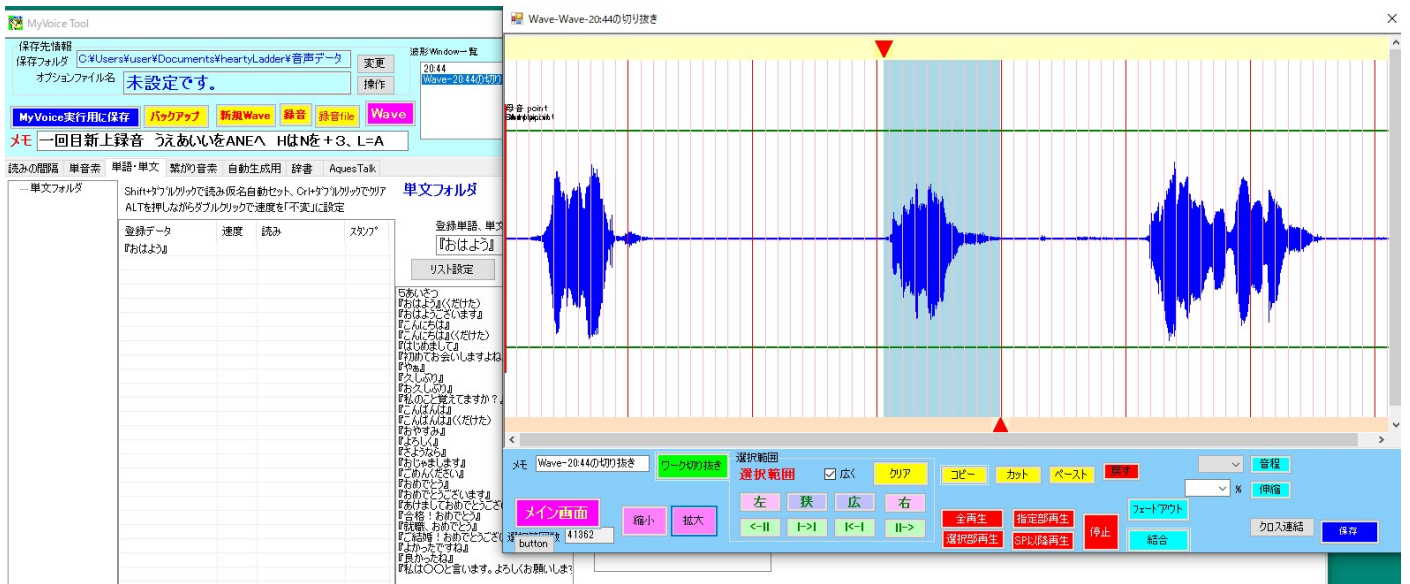
ここで「自動選択しきい値設定」を選びます。



ピンクの線をさらに細くする位置でクリックします。
(ピンクの線の幅で波形が切り取られます)



今度は波形全体が選択されました。



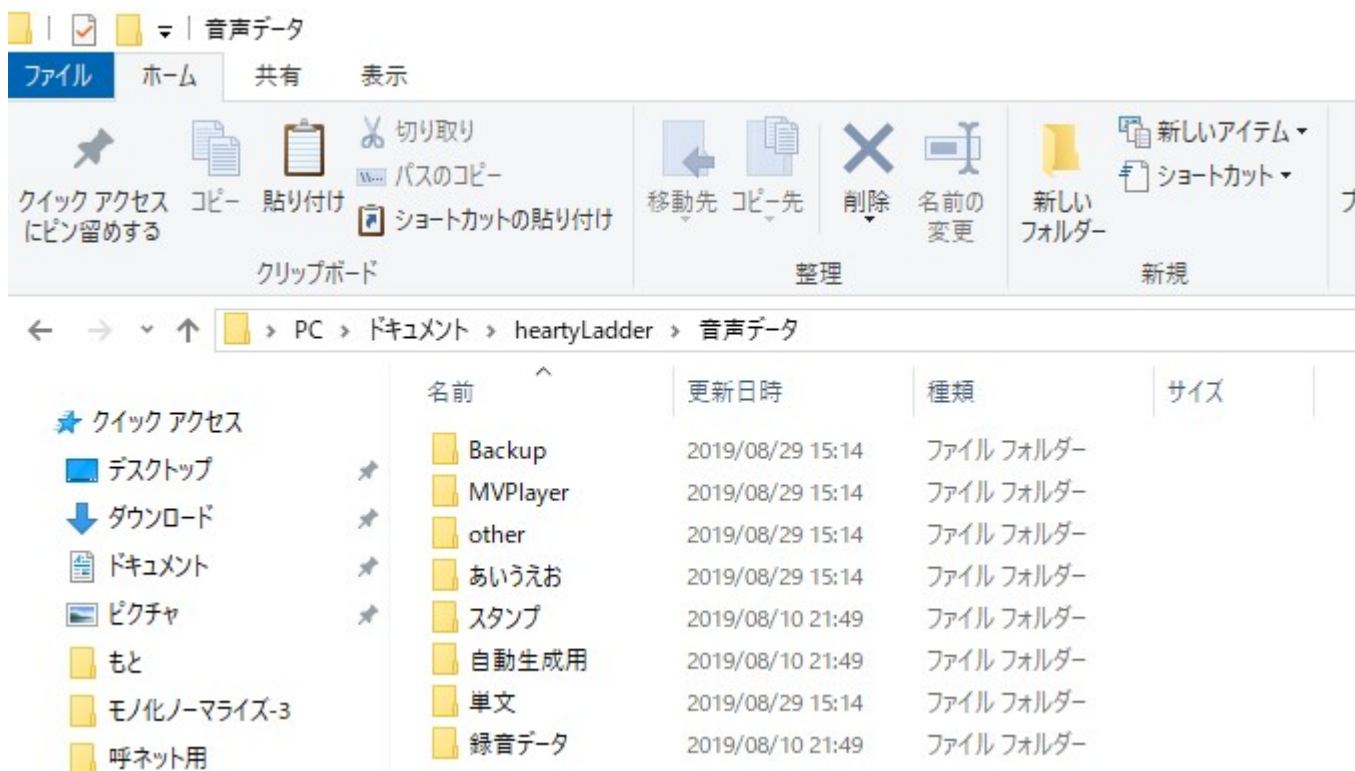
この状態で『おはよう（くだけた）』をクリックします。



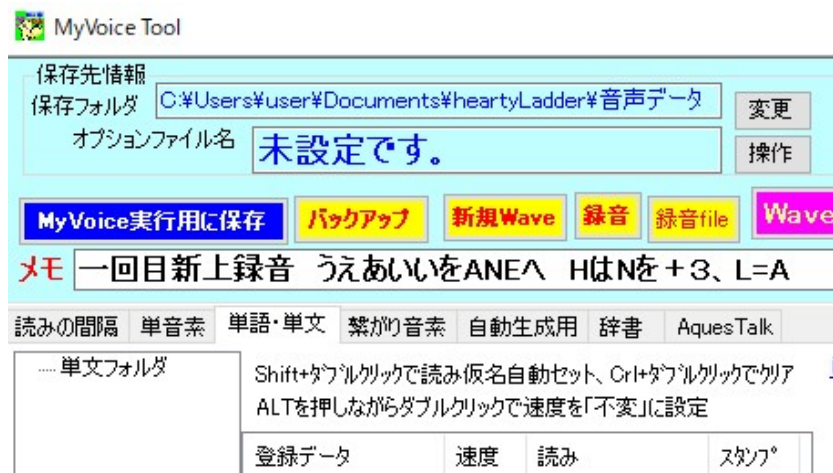
これで『おはよう（くだけた）』が登録できました。

登録した単語を単文フォルダのなかでさらにフォルダ管理（フォルダを追加）する方法

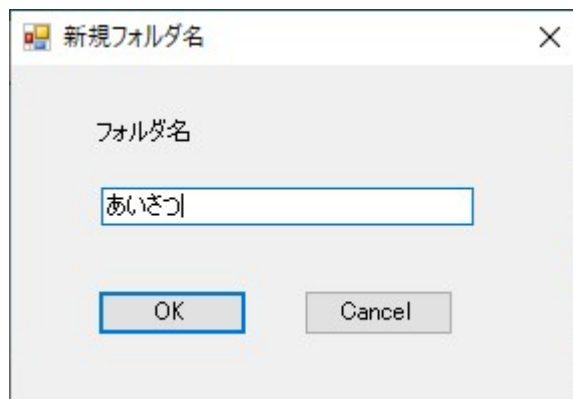
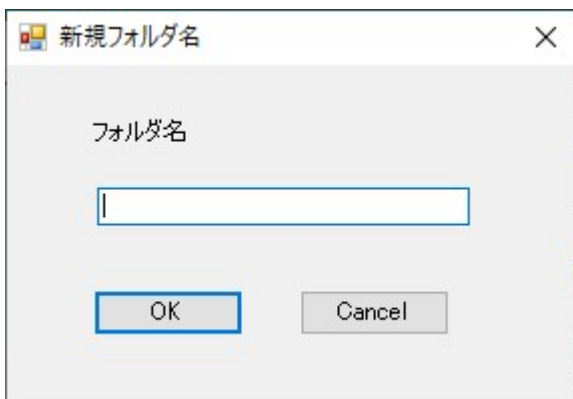
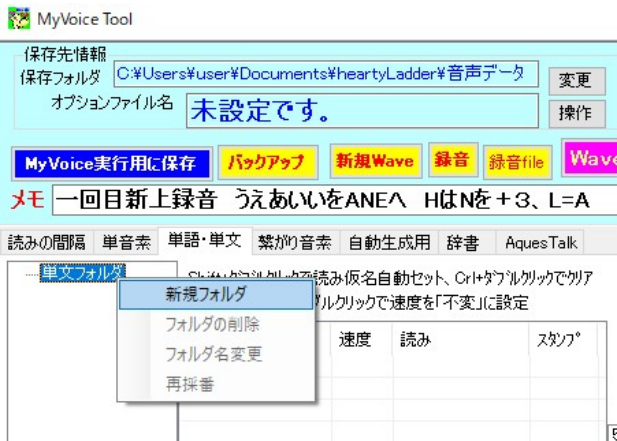
今はマイドキュメントの heartyLadder フォルダはこのようになっています。



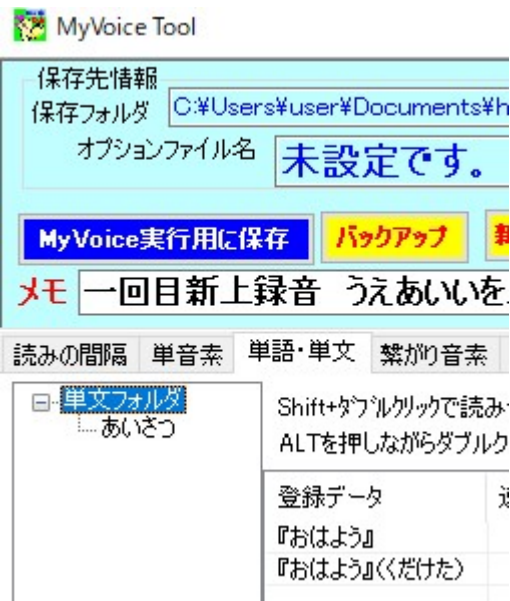
これをマイボイスの音素編集で表すようになります。



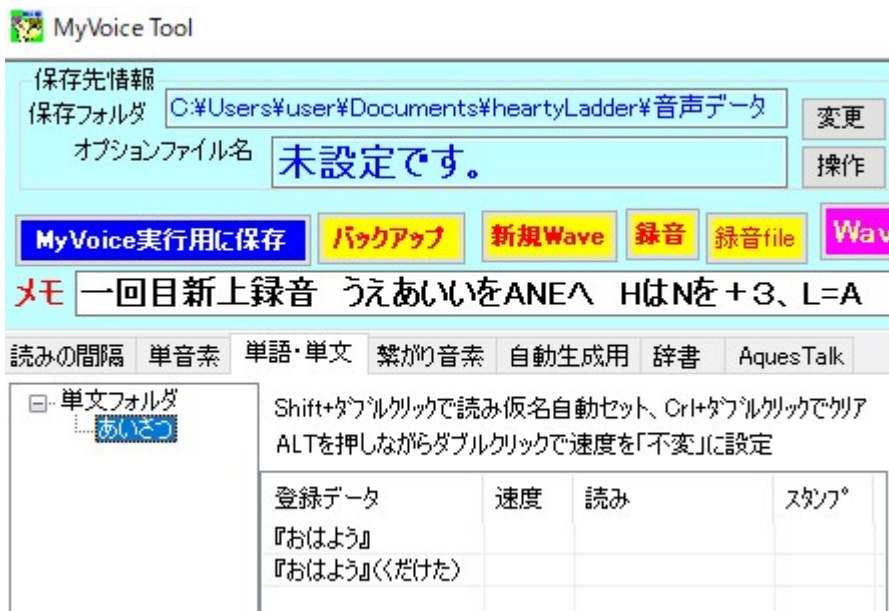
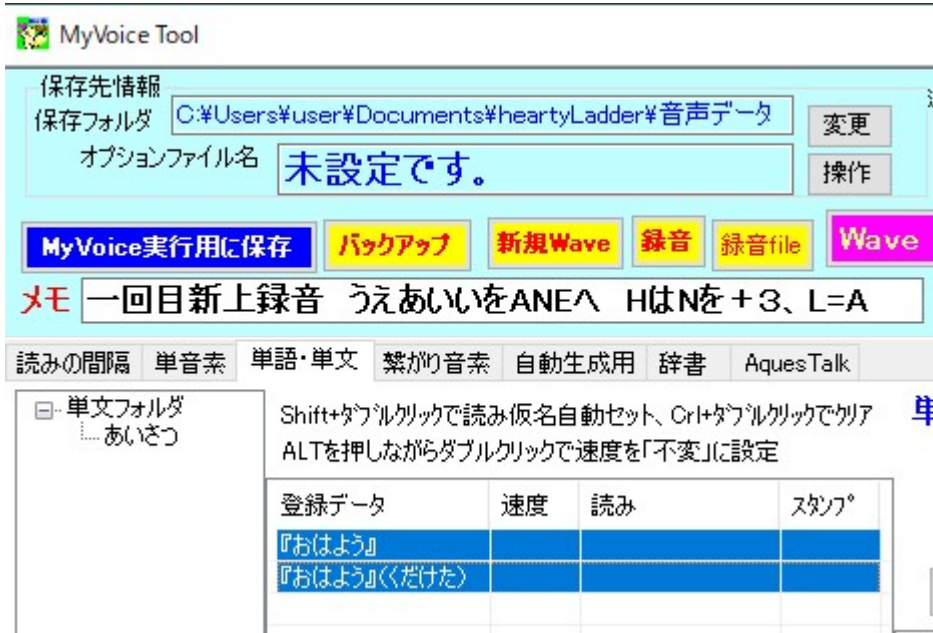
「単文フォルダ」の上で右クリックして新規フォルダを選択します。



ここでは例で「あいさつ」を入力します。



『おはよう』『おはよう』(くだけた)を、こうしてできた「あいさつ」フォルダにドラッグすることでフォルダに収まります。



この状態は、

単文フォルダのなかに「あいさつ」フォルダができて、その中に『おはよう』『おはよう』(くだけた)が保存されていることを示しています。

HeartyLadder-無題 HeartyReader
by AquesTalk2

*挨拶 *人 *文頭

*文頭

		新規		←	→	←	→			Win操作	機器操作	()	自動繰り返す		全読	END
外	入			↑	↓	↑	↓		「」		—	、	。		行読	
BS	Del	←				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	文頭	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	が	ざ	だ	ば	ぱ
	文末	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ぎ	じ	ち	び	ぴ
	前画面	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	ぐ	ず	づ	ぶ	ぷ
	次画面	え	け	せ	て	ね	へ	め	や	れ	よ	げ	ぜ	で	べ	ぺ
http表示		お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゆ	ろ	っ	こ	そ	と	ほ	ぽ

ここで「こんにちは」をクリック

または

HeartyLadder-9 HeartyReader
by AquesTalk2

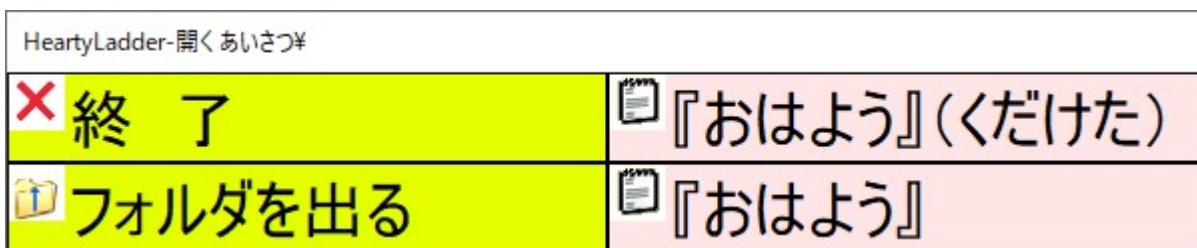
*挨拶 *人 *文頭

*文頭

		新規		←	→	←	→			Win操作	機器操作	()	自動繰り返す		全読	END
外	入			↑	↓	↑	↓		「」		—	、	。		行読	
BS	Del	←				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	文頭	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	が	ざ	だ	ば	ぱ
	文末	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ぎ	じ	ち	び	ぴ
	前画面	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	ぐ	ず	づ	ぶ	ぷ
	次画面	え	け	せ	て	ね	へ	め	や	れ	よ	げ	ぜ	で	べ	ぺ
http表示		お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゆ	ろ	っ	こ	そ	と	ほ	ぽ



こうしてフォルダが示されて単文が選べます。



ここで、『おはよう』などをクリックすると、文字として選べ、「行読」でマイボイスとして再生されます。もし、環境設定で「入力された文字を読む」に☑が入っていると、選んだ瞬間に読み上げます。